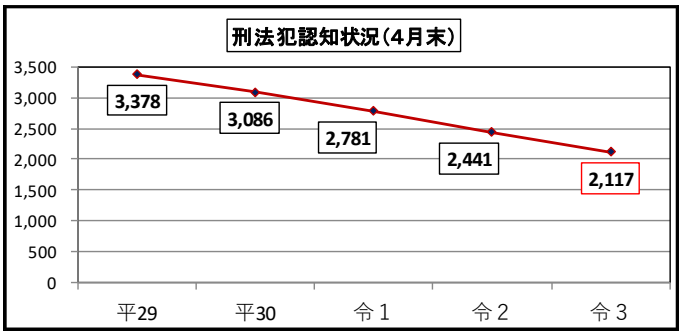
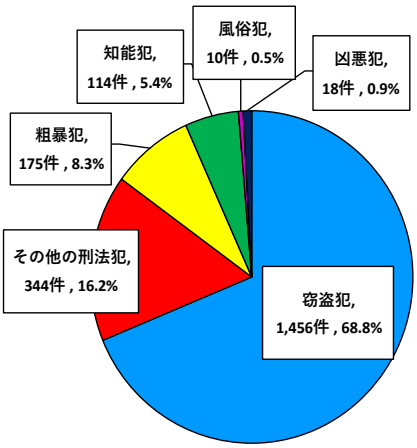
刑法犯の認知状況（令和3年4月末）

◎　刑法犯認知状況

2,117件（前年同期比－324件、－13.3%）





○　罪種別

	件数	増減数	増減率
凶　悪　犯（殺人・強盗等）	18件	-1件	-5.3%
粗　暴　犯（暴行・傷害等）	175件	+17件	10.8%
窃　盗　犯（万引き・空き巣等）	1,456件	-225件	-13.4%
知　能　犯（詐欺等）	114件	-18件	-13.6%
風　俗　犯（含むわいせつ事犯）	10件	-16件	-61.5%
その他の刑法犯（器物損壊等）	344件	-81件	-19.1%

刑法犯全体の
約７割（68.8%）
を窃盗犯が占める。

○　犯罪発生傾向

主な多発犯罪（認知件数順）

- 万　引　き　　430件（前年同期比＋29件、＋7.2%）
- 非侵入等その他　324件（前年同期比＋21件、＋6.9%）
- 器物損壊等　　228件（前年同期比－51件、－18.3%）
- 自 転 車 盗　　168件（前年同期比－41件、－19.6%）
- 暴　　行　　105件（前年同期比＋21件、＋25.0%）

○　強盗の発生は6件（前年同期比＋3件）。

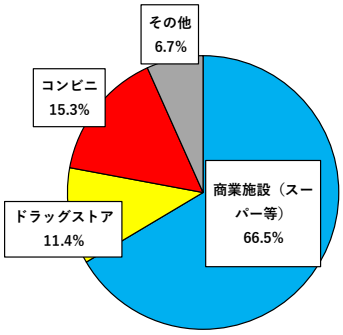
○　住宅対象（空き巣、忍込み、居空き）の侵入窃盗が91件（前年同期比－81件）と減少している。
（侵入箇所は窓からが74.7%であり、侵入手段では無締まりによる侵入が54.9%と最も多い。）

○　万引きは商業施設（スーパー等）における発生が66.5%を占めており、被害品は食料品が50.5%と最も多い。

◎　万引きの認知状況

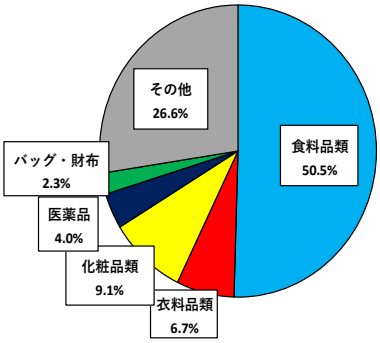
430件（前年同期比＋29件、+7.2%）

発生場所



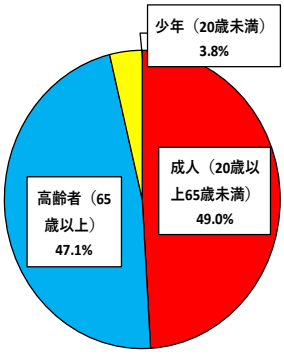
商業施設での被害が約６割！

被害品



食料品類の被害が約５割！

犯人の年代



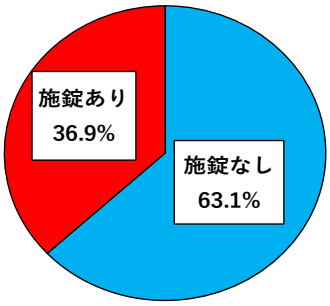
高齢者による犯行が約５割！

福島県警察ではスーパー等に対して店内の巡回やお客様への積極的な声かけを依頼しているほか、防犯ボランティアと連携して巡回広報活動を行い、万引きを「しない」「させない 」「ゆるさない」呼びかけを推進しています。

◎　自転車盗の認知状況

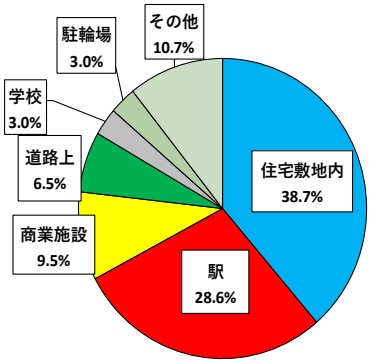
168件（前年同期比－41件、－19.6%）

施錠の有無



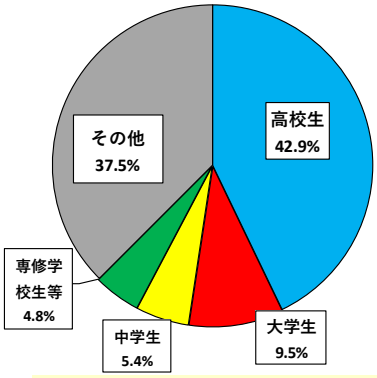
施錠なしの被害が約６割！

発生場所



駅、住宅敷地内での被害が約７割！

被害者職業



学生のうち中高生の被害が約５割！

～毎月10日は「地域安全の日」～

福島県警察では毎月10日を「地域安全の日」に指定し、なりすまし詐欺被害防止広報活動や、通学路の見守り活動、駐輪場のパトロール活動や自転車の施錠の有無などを確認する防犯診断、施錠の啓発運動を行い被害の防止を呼びかけています。